

令和2年度 笠原小教育構想(グランドデザイン)



【袋井市】 夢を抱き たくましく次の一步を踏み出す15歳

【浅羽中校区】「こころざしをもち、共によりよく生き抜くたくましい子」の育成

校訓
強い子
明るい子
考える子

【学校教育目標】「未来を切り拓く子」の育成

Plan

【重点目標】学び合い 認め合い 挑戦する笠原っ子

Do

See

学びづくり
「できるようになった」を増やせる子

- 見通しをもった単元計画
- 対話と振り返りの重視
- 指標：「できるようになったことが増えた」…よくできた75%

ICT機器・思考スキルの有効活用

授業で
活動で
自己表現力の育成
仲間と
地域と

特別な体験とのであい
(オリビックなど)

生活づくり
めあてに向かって挑戦する子

- 児童主体の活動の充実
- めあてと振り返りの充実
- 指標：めあてに向かって挑戦する…よくできた80%

QU・アンケートの活用

縦割り活動の内容の充実

**学びの質に
こだわった授業**

- ・主体的、対話的で深い学び
- ・基礎基本の修得
- ・教科横断的視点
- ・ICT機器の活用

ICT支援員

**人としての豊かさを
涵養する教育**

- ・人権教育を基盤とする
- ・「らしさ」「よさ」を認め、活かす
- ・知、徳、体のバランス

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

**「魅力ある学校」
としての環境**

- ・信頼関係を紡ぐ共同で活動
- ・居場所のある時間と空間の確保
- ・学年団による協力協同体制

スクールサポートスタッフ

地域とともにある学校

- 保護者とのパートナーシップ
- 笠原CCとの連携
- 学校運営協議会の参画
- 地域人材との協力

CSSS

【学校経営目標】

真心と笑顔があふれる学校づくり

Action

Check

児童・教職員アンケート(年3回) 保護者アンケート(年2回)
職員会議での振り返り(年4回) 学校運営協議会(年4回)

教職員の「チーム笠原」としての取組

地域とともにある学校づくり

鼓 濤 教 育

- ◇ CSSS (コミュニティスクールサポートスタッフ) を介した地域と学校の連携の推進
地域素材・人材の活用(読み聞かせの会、学習ボランティア、地域での体験活動)
- ◇ 浅羽学園としての保幼小中一貫教育の推進
- ◇ 学校と保護者の情報交換(学校だより、学年だより、授業参観、懇談会、ホームページ)
- ◇ 子どもを見守る活動(スクールガードボランティア、登校の旗振り指導、まちCOMIでの情報共有)